

里親ってなあに？

大切なことはまず
知ることから



現在の日本では親と暮らせない子供たちが五万人もいると言われています。

親と暮らせない理由

それは主に虐待での保護。年間虐待件数は12万件を超えました。そして、年間50人以上の子どもたちが虐待死しています。親の病気や服役、経済的な理由などもありますが、実は死別などはほとんどありません。この子たちの多くに産みの親や親権者がいます。養護施設でくらしています。

里親制度が必要な理由

養護施設には施設の役割があり、親と暮らせない子どもたちにとっては大事な存在です。幼い頃から施設で育った子どもたちは【家庭】での暮らしを知りません。「家庭」の暮らしを経験するために里親制度があるのです。

わたしだけ、
ぼくだけ
見てくれる

ワガママを
きいてくれる



泣きたいときに親身に
話を聞いてくれる

このような愛着関係の下で養育されることにより、自己の存在を受け入れられているという安心感の中で、自己肯定感や人間関係に不可欠な基本的信頼感を得ることができます。

こんなことができます。あなたも「里親」になってみませんか

●養育に必要な経費が毎月支給されたり、研修やフォローもあります。

養育里親

パパとママが
欲しいな…。



一定期間、子どもと暮らします。

特別養子縁組

一緒にくらし
てくれる家族、
できるかなあ



実親との法的な親子関係を解消し、
実の子と同じ親子関係を結びます。

季節、週末里親

時々、お泊まり
させてね



長期休み、週末などに数日から
1週間程度子どもを家に迎える里親です。

団体紹介

パルシステム東京大田連絡会 あけぼの会の紹介

生協パルシステム東京の組合員で構成しています。関心ごとは、食の安全・環境など暮らしに関わることです。グループに分かれて学習したり調べたりして区民にも発信しています。また、良い生協にするために生協にももの申すこともしています。大田区生活展には積極的に参画して楽しく活動しています。年齢は若い人から90歳までバラエティに富んでいます。あなたも一緒に生協の理念である運営に参加しませんか。

団体名：パルシステム東京大田連絡会 あけぼの会